

一般質問

今後の財政見通しについて



清流クラブ 黒澤 秀之
くろさわ ひでゆき

問 特例期限が迫る合併算定替え対応と財政健全化計画の実績と今後の展望は。

答 普通交付税の大幅減額に備え、減債基金を積み立て中である。財政健全化計画については、計画通り実行をしていく。

問 ファシリティマネジメント分析検討期(2ステージ)の進捗は。

答 現在、各施設の情報をまとめているところである。

雇用政策について

問 本年より実施される「ちちぶ地域創業支援事業」および、「実践型地域雇用創造事業」とは。

答 起業家に対する支援事業と雇用創造が期待される事業分野に対する推進事業である。

問 各種企業支援、雇用対策、各事業推進機関との繋がりを、分かり易く伝える方法について。

答 今後、ホームページやフェイスブック等へ反映させていく。

安心・安全なまちづくりについて

問 市民参画事業セーフコミュニティ推進事業について、市民に

する広報、周知方法は。

答 引き続き説明会やホームページ、市報等にて情報発信していく。

問 インターナショナル・セーフスクール(ISS)認証の進捗状況は。

答 モデル校の3校ともに、順調に取り組んでいる。



財政健全化計画



インターナショナル・セーフスクール花の木小学校

産科医療について



清流クラブ 赤岩 秀文
あかいわ ひでふみ

問 秩父市では、秩父市経営方針その第1項目に産科医療の確保を掲げているが、産科開設に向けて目標年度の設定、スタッフ、施設の規模等の計画、必要経費の概算はどのようにされているのか。また、助産師の育成、ハイリスク出産への対応は。

答 勤務していただく医師が現在確保できておらず、確保でき次第、計画および概算をすすめていく。助産師については市内産科へ研修派遣を行っている。ハイリスクな妊産婦さんの受け入れも考慮し関係医療機関と連携していく。

問 秩父市における妊産婦さんのうち、1割位の方が秩父地域外の産科を受診している現状があるがその理由と支援策は。

答 理由としては、リスクの高い出産を考慮する方、秩父では待ち時間が長いため、里帰り出産のため等と考える。支援策については、ケースが様々であるため見送った経緯がある。

ふるさと納税について

問 ふるさと納税制度が導入され数年経過しているが、納税の件数

金額の推移、納付時の特典等はどうになっているか。

答 過去3年間の実績では、件数金額的にも伸びている。特典については、納付金額に応じて、市内観光文化施設招待券や特産品を差し上げている。制度の有効活用を図るため、今後も調査、研究をしていく。



◎山間地域の大雪対策について
◎中津川いもについて

一般質問

庁舎等の建設延期と

今後の対応は



かなさき まさゆき
金崎 昌之

んでいる。

●「ちちぶ巡礼バス」の通
年運行を

問 伝承館内の劣悪な作業環境や市民スペースの不足等は、建設延期の最長6年もの間、とても待てる状況に無い。早急に市の空き施設等を活用した再配置が必要。

答 今後、組織の再配置も検討する必要があると考えている。

●高齢者福祉の現実と課題

問 老老介護世帯や認知症介護世帯では、介護をする方の健康破壊や虐待などで、命に関わるほど切迫した事態に陥っている場合がある。行政として、早急な対応は。

答 一人暮らし高齢者以外の実態は、十分に把握されていない。ショートステイの周知や地域全体での見守りが重要。虐待は、早急に対応を進めなければならない課題。

●徳島県神山町に学ぶまちづくり

問 今、徳島県の山間にある人口6千人足らずの神山町が、移住者が押し寄せ、テレビ等でも取り上げられる魅力的な町に変貌している。この取り組みに学ぶ考えは。

答 秩父市でもいろいろと取り組



ちちぶ巡礼バスを紹介したパンフレット

認知症対策



たかよ たかこ
公明党 福井 貴代

問 秩父市の高齢化の進展状況と課題。軽度認知障害の早期発見と早期予防に対する市の取り組みは。

答 65歳以上の高齢者の割合は、現在28・9%。平成35年には、高齢化率32・6%で、約3人に1人が高齢者という状況になると推計。独居高齢者の生活支援や認知症対策が必要になる。平成21年から取り組んだ認知症サポーターの育成数は4753人。総人口に占める割合は7%で、県平均の2・3%を大きく上回っている。今後は第6期高齢者福祉計画や介護保険事業計画の策定の中で検討していく。認知症の前段階の状態である、軽度認知障害を発見するための「あたまの健康チェック」や「認知症簡易チェックサイト」の導入については、認知症の早期発見・早期予防への新しい取り組みであり、他市の実績を見ながら検討する。

●成年後見制度

問 当市の成年後見制度利用支援事業実施要綱を、市長申し立て以外の人でも利用助成の対象となるよう、見直しができないか。また1市4町の連携で、同内容の要綱

◎ 予防接種について



認知症の早期発見のために「あたまの健康チェック」

を定める事が可能か。また今後の市民後見人の養成について取り組みは。

答 財政状況や他の問題点を考慮したうえで、要綱の改正について検討する。今後は郡内で足並みをそろえていく。市民後見人養成研修を11月から3月にかけて開催。約20名を募集し9日間の研修を予定。市民後見人の養成に努める。

一般質問

市民による

花のおもてなし



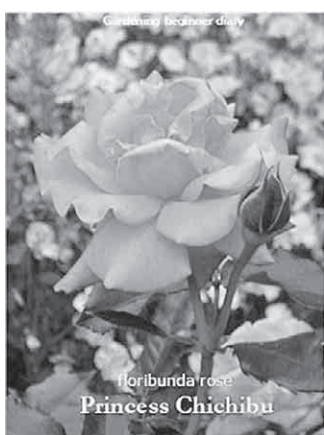
公明党 おおくぼ すずむ
大久保 進

問 ガーデニング愛好家は自慢の庭園を見て欲しいと思っている方が多い。「市民による花のおもてなし」としてオープンガーデンを紹介するマップを作製してはどうか。

答 オープンガーデンは市民協働による「花のおもてなし」であり大変素晴らしい事だと感じている。花の効果は観光誘客に重要で必要な事だと思う。そこで芝桜イベント期間に羊山公園に向かう道中でオープンガーデンを実施していただける方を募集し、散策マップを作製するなど観光イベントに合わせた形で検討出来ると思う。

問 秩父の宮妃殿下の名を冠した「プリンセスチチブ」を市役所本庁舎や各支所に植栽し、広く市民に知らせたらどうか。

答 今後、新しい市民会館を建設した際には、宮内庁にご承認をいただき引き続き「秩父宮記念市民会館」とさせていたきたいと考えている。そのようなことから「プリンセスチチブ」の植栽は本庁舎よりも市民会館の方がふさわしいと思う。今後、関係部局と協議を重ね方向性を決定したいと思う。



プリンセスチチブ

健康マイレージの取り組みについて

問 導入の考えは。

答 導入をした多くの自治体では、健康づくり事業への参加や、体を動かす事を通し、がん検診・特定検診の受診率向上や、将来の医療費削減を目指して実施している。実施する場合には、最大の効果をj得る事ができる事業内容について、調査・研究をしていく。

くらしと福祉の現状



日本共産党秩父市議会議員団 やまなか すずむ
山中 進

合併協定における大滝地域の施策について

問 仮称大滝トンネルの現状。温泉を利用したりハビリ療養施設について大滝地域では協議会を立上げ積極的にこれを推し進めたいという地域の声に対する支援は。

答 落石や災害時に必要だ。関係機関に要望していく。

雪害対策の現状と見通し

問 雪害対策の現状と将来の見通しは。被災農家は再建するのにもまだまだとの事、さらに国や県・市の助成があると云っても経費が個人の負担はかかると不安をのぞかせているが。

答 大雪被害対策に関する農水省の通知を受け、調査し、申請など手続きについて支援し対応したい。

第6期介護保険制度と市の取り組みについて

問 要支援者への訪問・通所介護を保険給付から外して市町村の事業に移すのは「受給権のはく奪」であり、要介護1、2の人を特別養護老人ホーム入所の対象外とす



クマの出没は大雪によるエサ不足の影響か（4月下旬撮影）